

社会課題解決に向けたスマートサービス実装事業  
募集要領別紙2 KPI 設定要領

令和7年8月

デジタルサービス局 デジタルサービス推進部 デジタルサービス推進課

## 1 スマートサービス実装事業が設定する KPI 項目の概要

社会課題解決に向けたスマートサービス実装事業（以下「本事業」という。）において、スマートサービス実装促進事業者（以下「事業者」という。）は、応募時に3か年度の事業計画における毎年度の KPI 項目の設定を行い、KPI 設定説明書を作成し提出すること。

KPI 項目の設定においては、以下に規定するとおり、都が本事業の目的達成や品質管理のために定める必須項目と事業者が自身で設定する任意項目に分けて記載すること。

なお、事業者が応募当初に設定した KPI 項目を変更する場合は、原則年度当初に限り、都と協議の上、認められた場合は変更することができる。

## 2 必須項目

都が定める必須項目は下表のとおり。毎年度末、表内の各項目における数値目標の達成が必達目標となる。

KPI 項目		数値目標	『達成』要件
	① スタートアップ等の掘り起こしの数	5 者以上/年度	本事業の目的に資するスマートサービスを有するスタートアップ等への事業説明を実施し連携意向を確認（「スタートアップ等の概要に関する書類」提出・都による適格確認の実施）
	② 実装先(自治体、企業等)の掘り起こしの数	5 者以上/年度	促進事業者自身のネットワークを通じて、スマートサービスの実装先候補を開拓し、実装支援に向けた連携意向を確認（NDA、議事録等提出）
	③ 商談・面談の回数	5 回以上/年度	実装に向けた具体的内容の検討に向け、①②で掘り起こしたスタートアップ等と実装先との商談・面談を規定回数調整・実施完了（議事録等提出）
	④ スタートアップ等への資金提供	15,000 千円以上/年度	スタートアップ等がスマートサービスを実装するにあたり必要な経費等を補填することを目的とした資金の提供（支払明細等提出）

### 3 任意項目

事業者は、必須項目に加えて、効率的・効果的な事業遂行のため独自の KPI 項目を設定・提示する必要がある。下記の例を参照し、当該 KPI 項目・指標がスマートサービスの実装にどのように寄与するかも併せて設定・記載すること（Ⅰ～Ⅲの各項目については、それぞれ最低1つは設定すること）。

また、各 KPI 項目を設定する際は他の必須項目・任意項目と達成要件が重複する内容は設定しないこと。

本事業をより効果的に実施する KPI 設計であると思料された場合は、審査時の評価における考慮事項となる可能性もある。

<b>【Ⅰ 自社の保有する技術・アセット等のスタートアップ等への提供】</b>
例) 自社プロダクト・施設等の無償提供 / 実装スキーム（ビジネスモデル）への技術的助言の提供 / その他自由設定
<b>【Ⅱ サービス実装の効果検証】</b>
例) ユーザーへのインタビュー・アンケートの実施 / サービス利用者データの分析 / 実装サービスの市場調査 / 実装サービスのモニタリング・機能アップデート支援 / その他自由設定(実装したサービスの効果・改善点を特定し、成果の最大化を果たすもの)
<b>【Ⅲ サービス普及・啓蒙活動】</b>
例) プロモーション・広報の支援 / サービスの体験会等の実施 / インクルーシブをテーマとした勉強会等の実施 / その他自由設定
<b>【Ⅳ その他】</b>
例) その他サービスの実装に資する取組を設定